

全労連第 31 回定期大会によせられた 国際組織、海外友好組合・団体からのメッセージ

(14 カ国、19 組合/組織、3 国際/地域組織)

2020 年 7 月 30 日現在
全労連国際局仮訳

オーストラリア労働組合評議会 (ACTU)

親愛な小畑雅子議長、
黒澤幸一事務局長

全労連第 31 回定期大会に際して、オーストラリアの労働組合運動を代表し全労連、加盟組合、組合員のみなさんに温かいご挨拶をお送りします。

みなさんの大会は、私たちが引き続き新型コロナウイルス、気候変動、戦争の脅威、物価の高騰、低賃金の蔓延といった危機に直面し、オーストラリアと日本をはじめとする世界中の労働者の困難がますます深刻になるなかで開催されています。私たち労働組合にとって極めて重要なことは、すべての労働者のために公正、公平、かつ平和な世界を求めて闘い続けることです。

オーストラリアの労働組合運動を代表してみなさんに連帯を表明するとともに、みなさんの大会の成功を祈念します。私たちは、世界中の労働者と労働組合の権利を擁護し、労働者のより良い未来を構築するため、引き続きみなさんとともに取り組むことを楽しみにしています。

連帯、

オーストラリア労働組合評議会 (ACTU)
議長 ミシェル・オニール

オーストラリア建設・林野・海運・鉱山・エネルギー労組・建設一般部門 (CFMEU)

親愛な仲間のみなさん、

オーストラリア建設・林野・海運・鉱山・エネルギー労組・建設一般部門 (CFMEU) を代表し、全労連第 31 回定期大会にご挨拶申し上げます。

みなさんの大会は、賃金低迷、生活費高騰、新型コロナウイルスパンデミック、地政学的不安といった世界中の労働者が多くの困難に直面するなかで開催されます。CFMEU と全労連はともに、こうした問題に直面していますが、私たちは労働者の権利を求めて、また公正で平和な世界を求めて、連帯してたたかう強い決意も共有しています。

私たちは、20 年におよぶ景気後退のなかで賃上げを求めてたたかった全労連の奮闘を心から支持します。

私たちは、全労連などの国会への働きかけによって日本政府が ILO105 号条約を批准したことを評価するとともに、ILO111 号条約の速やかな批准をみなさんとともに望んでいます。

私たちはウクライナの平和、また世界の平和を求める全労連の訴えを支持します。

こうした重要な多くのたたかいには、全労連のような強力な組合、すなわちみなさんの団結力、勇気、リーダーシップが求められます。

私たちはいま自国でたたかっています。しかし極めて重要なことは、私たちが国際的な連帯の力をあらためて想起することです。

私たちは、第 31 回全労連定期大会のみならず、私たちに共通する公正と平和を求めるたたかいに取り組む全労連の同志のみなさんに、私たちの連帯と支援をお送りします。

CFMEU 建設・一般部門
全国書記 デイブ・ヌーナン

韓国・民主労働組合連盟 (民主労総 KCTU)

(ビデオメッセージの原稿)

全労連の皆さん。民主労総委員長ヤン・ギョンスです。全労連第 31 回大会を お祝いし連帯の挨拶をお送りします。

韓国と日本の労働者は、ウクライナ戦争の供給網崩壊とコロナパンデミックにより共通の困難を抱えています。労働者の多くが低賃金と失業に追い込まれています。非正規、有期雇用、派遣労働者たちは、雇止めにされ職を失っています。資本は富を貯めこんでいますが、労働者は低賃金に苦しんでいます。

日本は最低賃金が上がり大変だと聞いています。韓国も同様です。また朝鮮半島周りの強国の対立で、日米韓同盟を狙い戦争を画策する資本と政府の動きでさらに厳しくなっています。

仲間の皆さん、日韓の労働者は連帯して共に闘わなければなりません。朝鮮半島で戦争が起きれば、日本政府が国防予算を増やし戦争を狙うなら、米国と一緒に北東アジアの危機を煽るなら、私たちの生活はさらに苦しくなるからです。

今や新自由主義が崩壊し、オルタナティブ経済体制の論議が始まっています。もう搾取されず良質の雇用で、働いた分だけきちんと受取り働ける世界を一緒に作りましょう。

全労連の皆さんが私たちの闘いに応援と支持を送ってくれること決して忘れません。いつもありがとうございます。

皆さん、この大会で全労連の2年の闘いと活動を力強く決定して下さることをお願いします。その過程こそ私たちの暮らしを良くする道です。日韓民衆の生活を良いものにしていきましょう。

もう一度、全労連大会をお祝いします。私たちも皆さんとの絆と同志愛で、共に闘います。おめでとうございます。共に頑張りましょう！

委員長 ヤン・ギョンス

中華全国総工会 (ACFTU)

親愛な全労連のみなさん、

私たち中華全国総工会は、全労連が2022年7月27日～29日、東京で第31回全労連定期大会を開催し、きたる2年間の新たな方針とアクションプランを採択、新たな指導部を選出するとのお知らせをいただき、とても嬉しく思っています。私たちは全労連第31回定期大会が大きく成功されますよう祈念いたします。

全労連は結成以来、労働者の権利と利益を守り、ディーセントワークを前進させるため、実効ある労働組合キャンペーンに積極的に取り組んできました。私たち中華全国総工会は、全労連のたたかいによって労働者の賃上げが前進していることを祝福するとともに、新たな指導部のもと、全労連の今後のたたかいが大きな成果をあげることを確信しています。

私たち中華全国総工会と全労連は2000年に二国間交流を確立しました。それ以降、私たちのコミュニケーションと協力は、互いの努力によって大きく発展しています。中国の労働組合は、ポストコロナ時代の国際的、地域的労働運動のなかで、全労連とのコミュニケーション、相互支援、協力を強化したいと思っています。私たち中華全国総

工会は、より民主的で連帯した互いのためになる地域的、国際的労働運動を前進させるため、いつでも全労連とともに取り組む用意ができています。大会の成功を祈念いたします。

中華全国総工会

ベトナム労働総連合 (VGCL)

親愛な黒澤幸一全労連事務局長、

全労連第31回定期大会に際して、ベトナム労働総連合 (VGCL) 1,050万人超の組合員を代表し、全労連と全労連の仲間のみなさんに連帯のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックや最近の物価高騰のなか、私たちVGCLと日本の労働者、労働組合は共通の困難に直面しています。雇用を守り、最賃引き上げをはじめとする労働者の所得を増やすための全労連の取り組みは、ベトナムの労働組合がこの間ずっと注視し、多くの資源を投入し、取り組んできた重要な課題です。また私たちが高く評価する全労連のもうひとつの取り組みは、使用者による一方的な決定に反対して正規、非正規の区別なく、すべての労働者の権利を擁護する取り組みです。

私たちVGCLは、それぞれの国や企業の持続的な発展のために、また労働者の雇用と生活水準の向上のために、平和で安定した国際環境がいかに重要であるか、よく理解しています。ですから私たちは、国際紛争に際して平和的解決の原則の尊重をすべての国に求めたベトナム政府の立場を強く支持しています。

VGCLは、公正で平和な世界をめざし、全労連とVGCLの友情と連帯を強化し、労働者と労働組合の権利擁護という共通の目標を達成するため奮闘したいと願っています。また私たちは、全労連の同志や仲間のみなさんによる30年以上にわたって変わることはない私たちへの支援に心から感謝します。

全労連第31回定期大会の成功を祈念しつつ、新たな全労連指導部との積極的な協力に期待しています。

連帯をこめて

ベトナム労働総連合 (VGCL) 議長、
グエン・ディン・クアン

インド新労働組合イニシアチブ(NTUI)

全労連第 31 回定期大会代議員のみなさん、

日本の労働者階級のために奮闘する全労連の第 31 回定期大会に際して、インド新労働組合イニシアチブ(NTUI)は、全労連指導部と組合員のみなさんに敬意を表します。

全労連大会は、滅びつつある世界の大国が地球を支配する力を維持しようと企んで引き起こした帝国主義戦争のさなかに開催されています。多くの人々のいのちを奪い、はかり知れない苦悩をもたらした人類史上最悪のパンデミックの悲劇の終焉が近づくなか、私たちはインフレのサイクルのなかに追い込まれました。このインフレによって世界中の労働者階級は、生活を瞬く間に破綻させる生活費高騰の危機に直面しています。

不平等の拡大によって偏狭な敵対感情と排外主義は増加し、右翼や退行勢力は人々の不安や喪失感につけこんで恐怖と憎悪をバラまいています。

こんにちすべての国々で民主主義が脅かされています。日本とインドの支配層にとって、民主主義の破壊は「グローバル」な大国の地位につながる「機会」です。人々の福祉のための貴重な公的資金が戦争経済につぎ込まれています。

1 世紀以上にわたって、労働者階級は民主主義、平和、公平、公正の価値を定義し、前進させてきました。私たちはこれらの価値を擁護し、たたかいを刷新し、組織を再活性化し、抵抗を倍加することによって、地球を破壊から守り、すべての人々に自由、調和、公正を提供するより良い世界を築かなければなりません。これほど大きな挑戦が私たちに突き付けられたことはいまだかつてありません。

私たち NTUI は、全労連大会をとおして、私たちの共通のたたかいが前進することを確信しています。というのも NTUI と全労連は、団結し、互いに連帯し、同じ道を共に進む必要性を十分、認識しているからです。団結し、連帯し、同じ道を進むことによって組合のパワーは可能になります。私たちの世界を変えることができるものは、まさに組合のパワーです。

全労連と NTUI の関係強化を強く決意しつつ、全労連定期大会にご挨拶を申し上げます。

連帯して組合のパワーを強化しよう!

民主的、平和、公平、公正の世界をつくらう!

国際連帯万歳!

連帯と同志愛のもとで

インド新労働組合イニシアチブ(NTUI)書記長
ゴタム・モディ

インド労働組合センター(CITU)

インド労働組合センター(CITU)は、2022 年 7 月 27~29 日、東京で開催される全労連第 31 回定期大会にプロレタリア国際連帯を表明します。

世界の労働者階級の運動は困難な状況に直面しています。世界労連(WFTU)は 2022 年 5 月 6~8 日、ローマで第 18 回大会を開催、資本主義の制度的危機の悪化について討議しました。そのなかで世界労連(WFTU)は「資本家階級が利益を追求する無限の欲望を厳しく批判しつつ、この危機の真の原因を資本主義的生産モデルの法則のなかに、また資本の再構築や再投資が不可能ほど過剰に蓄積された大規模な資本のなかに見出さなければなりません」「資本家によるいかなる政策も、この危機に持続的に対処することはできません。資本家の無策は重たいツケとなって労働者に転嫁され、人々はこの危機の代償を払うよう要求されています。資本家にとってこの危機は、彼らの反労働者政策を押し進める機会になっています」と的確に指摘しました。

こうした危機を背景に、米国率いる帝国主義勢力によるヘゲモニー主義は、地球上のさまざまな場所で戦争状態を引き起こそうと激しい攻撃を展開しています。ロシアとウクライナの戦争はそうした状況のもっとも新しい反映であり、侵略主義的なアメリカ帝国主義と NATO 軍対ロシアという形をとってウクライナで実際に戦争しています。

私たち CITU は、物価高騰とインフレに関する全労連の正しい見解を全面的に支持します。日本政府は、物価高騰とインフレ対抗策として賃上げを要求する日本の労働者階級に対して冷たい立場をとっています。ちなみに世界労連は、物価上昇とインフレを非難し、飢餓的賃金のない尊厳ある賃金を求める「国際行動デー」を 2022 年 10 月 3 日に設定するよう世界の労働者階級に呼びかけています。

CITU は、全労連による労働者階級の運動に対するコミットメントと日本の進歩的労働組合の総連合としての実績を知っています。私たちは、みなさんの大会が極めて重要な階級問題について議論し、危機的な資本主義システムによる攻撃とたたかう労働者階級の進路を採択することを確信して

います。貴大会の大きな成功を祈念します。

温かい連帯のご挨拶をお送りします。

インド CITU 書記長

タパン・セン

全インド労働組合会議(AITUC)

黒澤幸一全労連事務局長、

親愛な同志のみなさん、

私たち全インド労働組合会議(AITUC)は、2022年7月27~29日、全労連が第31回定期大会を開催することを伺い、心から嬉しく思っています。

私たち多くの国の労働者が新型コロナウイルスのパンデミックの深刻な影響によって苦しんでいるいっぽう、会社や大企業は利益を増やし、巨額の富を蓄え、少数の人の手に富を蓄積しようと躍起になっています。この傾向はインドをはじめ、あらゆる場所で顕著です。「世界不平等レポート2022」がこの状況を明らかにしています。

私たちは多くの問題に直面しています。それはたとえば雇用や新たな雇用の喪失、賃金の下落、労働条件の悪化、社会保障に対する攻撃、労働組合のたたかいで勝ち取った労働権の侵害、教育や医療といった生活費の高騰です。

紛争や戦争をとおして、軍事ブロックと軍需産業はますます利益を増やすいっぽう、雇用創出、教育、健康、食糧といった普通の労働者の必要最低限の要求を顧みることなく、さらに軍事費を増強しようと狙っています。労働組合は、労働者の権利と社会の多くの権利のために声をあげなければなりません。

私たち全インド労働組合会議は、日本の労働者階級と日本の国民のために運動し、たたかう全労連を高く評価します。私たちは、核兵器のない平和な世界を求めて労働組合がたたかうべきだという全労連の主張を共有します。私たちは、平等と正義に立脚した社会をめざし、労働者の権利と尊厳を守るため、労働組合が団結したたたかいを構築しなければならないと確信します。

国際金融資本が世界中の市場を手に入れようと必死になり、国家間の不平等や国民のあいだの格差を拡大させているいま、労働組合による二国間交流の強化、地域的連帯の強化、国際連帯の強化は最も重要です。

1920年に結成された私たち全インド労働組合会議は、インド最初に結成された労働組合全国セ

ンターです。私たちは、植民地支配からの独立を求めるたたかいのなかで偉大な役割を担い、外国支配下の時代から独立後の時代をとおして、労働者の権利擁護のためにたたかった長い歴史を誇りにしています。そして私たちは常に、全労連との二国間関係を大切にしています。

私たちは、全労連の今後のたたかいを決定する貴第31回大会が大きく成功することを祈念いたします。

労働者階級の連帯万歳、

国際連帯万歳、

全インド労働組合会議(AITUC)と全労連の友好関係万歳

全インド労働組合会議(AITUC)書記長

アマルジート・カウール

フランス労働総同盟(CGT)

(ビデオメッセージの原稿)

世界を覆っている医療、経済、社会的危機、そして戦争が世界の労働者が団結を強化しなければならないことを示しています。

資本主義はこの危機を作り出し、人々と地球の資源を搾取する資本主義システムの危機のツケを払うのは労働者であることを私たちは知っています。

CGTは全労連との関係を強化したいと考えています。それは両国の労働者の利益が共通しているからです。強大な多国籍企業と、労働者が守られるべきなのに時に経営者の利益を擁護する国際機関により強力に、効果的にたたかうために団結しなければならないと確信します。

CGTは日本の労働者を、全労連の組合員を支援します。全労連大会での建設的な議論を期待しています。

大会の討論と運動方針が、社会的そして環境の課題での運動をより強化するものであると確信しています。

共通するたたかいでお会いしましょう。

フランス CGT 欧州国際部長

ボリス・ブラッジ

ベルギー・キリスト教労組連盟(ACV-CSC)

親愛な全労連事務局長、黒澤幸一さま、

親愛な大会代議員のみなさま、

ベルギーキリスト教労働組合連盟 (ACV-CSC) を代表し、日本の労働者の権利擁護のためにたたかう全労連の第 31 回定期大会にお祝いを申し上げます。

強調するまでもなく、私たちは前代未聞、かつ複雑な時代を生きています。新型コロナウイルスのパンデミックは、私たちの生活や働き方のあらゆる側面に影響を及ぼしています。

このパンデミックは、人の生命を悲惨に奪っただけでなく、仕事の世界にも壊滅的な影響を与えています。このパンデミックは増加する解雇や失業、低下する収入、ますます増加する非正規雇用と不安定雇用、職場の健康、安全、権利に関する新たな課題、そして何よりも貧困と不平等をもたらしました。

ヨーロッパで勃発した戦争は、食料とエネルギーの価格の世界的高騰をもたらし、新型コロナパンデミックによっていまだ苦しんでいる人々に追い打ちをかけました。この価格高騰は、賃金の停滞、それどころか賃金の引き下げと相まって、労働者とその家族の生活をいっそう困難にしています。労働者の購買力の強化を求めて全労連が取り組む議論をとおして、より良い未来に向けた新たな希望が全労連の組合員と日本の労働者に示されるでしょう。労働組合は自国の労働者のあるべき未来の姿を真剣に考えなければなりません。

みなさんの大会の大きな成功を祈念します。

ベルギー労働組合総連合国際局
スティン・シントゥビン

イタリア労働総同盟 (CGIL)

親愛なる黒澤幸一同志、代議員のみなさん、

イタリア労働総同盟 (CGIL) を代表して私たちは、2022 年 7 月 27 ~ 29 日に東京で開催される全労連の第 31 回大会の成功を祈念し、ご挨拶申し上げます。

私たちは、安倍晋三元首相が銃撃され死亡したとのニュースにショックを受け、悲しく思っています。私たちは、全労連のみなさんに、またこの不確かな時代でたたかっている民主的な労働運動に連帯します。全労連大会は、今年もまた極めて深刻な状況のなかで開催されています。というのも日本とイタリアは双方とも、私たちの組合員とその家族に深刻な影響を及ぼすロシアによる残忍なウクライナ侵攻の直接的、間接的影響に直面し

ているからです。この戦争責任は完全にロシアにあります。ロシアのウクライナ侵攻の決定は不当であり容認することはできず、国際法とウクライナの人々の国際的自決権を全面的に侵害するものです。

この戦争は世界の地政学的秩序を作り変えると同時に、核保有国が均衡を図る手段としての抑止力に疑問を呈しています。私たちは全労連の意見を共有するとともに、私たちイタリア三大労組 CGIL (イタリア労働総同盟)、CISL (イタリア労働者組合同盟)、UIL (イタリア労働連合) は、ロシアによるウクライナ侵略を全面的に非難し、ロシアにこの国際的な犯罪の責任を負わせるよう要求しています。「市民社会と労働組合による平和を求める欧州同盟」のメンバーとして、私たちは引き続き、以下の要求を掲げています。

- ・ロシア連邦のウクライナ侵略を糾弾し、独立と主権を守るとともに、ウクライナのすべての少数言語グループの人々の人権を完全に認め、
- ・ウクライナの人々、ウクライナ侵略に反対するロシアの平和主義者、ウクライナとロシア双方の良心的兵役拒否者と連帯し、
- ・国連決議に基づいて、停戦にむけて即時に交渉を開始するよう求める取り組みを再開し、
- 外交的、政治的イニシアチブを基本的にテコ入れする段階的軍事縮小に取り組み、
- 共通の未来にむけて、協力と軍縮を基礎にした大西洋からウラル山脈にいたるヨーロッパが共有する安全保障システムを構築すること。

私たちは、暴力ではなく対話によってのみ前進がもたらされると信じています。多国間主義こそが前進する道であり、強化されなければなりません。これこそが全労連のみなさんの取り組みを私たちが支援する理由です。全労連のみなさんは、他国の労働組合がそれぞれの国の政府に働きかけて核兵器禁止条約を批准するよう呼び掛けています。イタリア政府と日本政府は、いずれも軍事費を GDP の 2% にまで増加させ、NATO の要求に応えようとしています。CGIL は、私たちのイタリアとヨーロッパを、平和ではなく戦争の道に向かわせるイタリア政府の行動に反対します。

この戦争は、新型コロナウイルスのパンデミックによって、すでに世界が激動するさなかで起きています。新型コロナウイルスによって世界のサプライチェーンは混乱し、経済全体が停止しました。そして私たちが目の当たりにしているものは、

パンデミックによってすでに存在していた不平等、とりわけジェンダー不平等の悪化であり、新たな不平等が生じる可能性です。もし労働運動を代表する社会パートナーが実質的に、かつ有意義に関与し、協議し、参加して必要な施策を講じなかった場合、民主的システムは徐々に弱体化する危険があります。この戦争によって食料安全保障に対する圧力は高まり、ヨーロッパにおけるエネルギー自給モデルには疑いが生じ、インフレは高まり、不平等、不安定労働、低賃金、貧困のレベルは高まり、私たちの組合員とその家族は直接的な影響を受けることとなります。

同志のみなさん、私たちはパンデミックのもとでもディーセントな仕事と安全な職場や地域社会を確保し、団体交渉をとおして賃上げを要求するみなさんの労働組合としての取り組みに敬意を表します。とりわけ ILO 第 105 号条約の批准に関する最近の情報に敬意を表します。といいますのも国際規範的枠組みと国際労働基準の監視は、私たち労働組合に自国における基準を向上させるパワーを与えてくれるからです。あらゆるレベルで団体交渉は、真の労働者のパワーを代表して労働条件を改善し、国の政治的、経済的、社会的組織に参加して労働者と使用者のあいだの等しい尊厳を確保し、真の社会正義を達成します。イタリアでは、強力な団体交渉システムが存在するにもかかわらず、グローバル化の名のもとで労働の価値はますます不安定でみじめになり、労働者がいのちを危険に晒さなければならないレベルにまで低下しています。そのいっぽうで富は少数の手に集中し、大規模多国籍企業の経済的、金融的パワーは政治や国家すら凌駕し、その結果、民主主義は弱体化しています。

社会正義は、雇用と職業におけるあらゆる形態の差別を撤廃しないかぎり達成されません。私たちは、全労連のみなさんが ILO 第 111 号条約の批准を求めて政府に働きかけていることに敬意を表します。私たちイタリア三大労組 CGIL、CISL、UIL は、ILO ジェンダー条約の効果的な適用に向けた改革に取り組んでいます。そしてイタリアでは、ジェンダー平等に関する国内法がある程度、前進していると言っていいでしょう。たとえばそうした国内法は、ILO 第 190 号条約の批准、性別賃金格差に関する企業の情報公開義務や公共調達におけるクオータ制の導入などです。さらに最近 ILO は「労働における基本原則及び権利」の基本

条約のなかに ILO 第 155 号条約と第 187 号条約を盛り込みました。私たちはイタリア政府にこれらの条約の批准を要求します。

同志のみなさん、全労連大会でご挨拶する機会をいただいた私たちは、この機会に、イタリア労働総同盟 (CGIL) が 12 月 14~16 日、イタリアのリミニで第 19 回大会を開催することをお知らせします。私たちは、不安定労働とたたかうディーセントワーク、また正規雇用のための新しい公共、普遍的な社会モデルといった目的を達成する方法について、みなさんと一緒に議論を深めることを期待しています。

連帯をこめて

イタリア労働総同盟 (CGIL)

欧州・国際政策局長 サルバトーレ・マウラ

スペイン労働者委員会総連合 (CCOO)

2022 年 7 月 27 日~29 日に東京で開催される全労連第 31 回定期大会に際して、スペイン労働者委員会総連合 (CCOO) は、全労連のみなさんに温かい連帯のご挨拶をお送りします。CCOO は私たちの加盟組織を代表して、日本の労働者の要求に全面的な支持を表明するとともに、日本の労働組合と労働者階級、とりわけ剥奪しえない労働者の経済的、社会的、民主的権利を求める正当なたたかひのなかから全労連第 31 回定期大会に参集された代議員をはじめとするみなさんに戦闘的な連帯を表明します。

まず初めに私たち CCOO とその加盟組織は、安倍晋三元首相が国政選挙のキャンペーン中に突然、銃撃され死亡したことに深い衝撃を受けています。私たちは悲しみとともに、この事件を最も強い言葉で非難するとともに、暴力は民主的で力強い社会を築く手段になりえないという信念のもと、日本のみなさんに弔意と連帯を表明します。ご承知のとおりスペインは、長い独裁政権ののちの民主主義を築く長い過程をとおして、暴力やテロが社会に及ぼす影響を身に染みて理解しています。だからこそ私たち CCOO は、日本のみなさんを支援するとともに、全労連の今後の重要課題やたたかひに関する原則と文書を採択するために参集した全労連大会代議員のみなさんを支援しています。

全労連のみなさんが今定期大会の文書のなかで明らかにしているように、全労連と私たち CCOO には多くの共通する課題があります。昨年末に開

催した CCOO の大会に際して、私たちは現状分析を行いました。その分析によると、2008 年の金融・経済危機によって私たちが抱える課題は深刻になりました。そうした状況は欧州諸機構に従属的な政策とその実施がもたらしたものです。金融・経済危機の結果はいまだ人々にとって壊滅的です。とりわけ影響を受けた労働者は、雇用の展望を見出せず、不安定雇用や出稼ぎを余儀なくされた青年労働者、不安定雇用や失業の影響を大きく受け、賃金格差が社会保障にまで影響して苦しむ女性労働者、出身国に帰国せざるを得なくなった移民労働者です。またこうした労働者は、公共部門の再分配機能がますます脆弱になり、機能不全になることによってさらに苦しめられています。

国民の大半が 2008 年の金融・経済危機以前の生活水準を取り戻せないなか、新型コロナウイルスのパンデミックによってスペインは医療危機に瀕し、政府はロックダウンや移動制限といった極端な措置を余儀なくされました。新型コロナウイルスのパンデミックによって、世界の多くの国々が経済活動を停止しました。スペインでは、パンデミックの拡大と進歩的な連立政権の誕生が同時に起きたことにより、政治的対立が激化しています。ジェンダーに由来する暴力の軽視、生態系の多様性の危機に対する画一的対応、ゼノフォビアの急増、そして今回の新型コロナウイルス危機…。こうして問題が山積しているにもかかわらず、さらに私たちは、国民の健康を犠牲にしてでも個人の自由を集団的利益に優先させようとする主張や否認主義の出現にも直面しています。

こうした状況のなか、私たち労働組合は以下 3 点を優先課題に据えるべきではないでしょうか。i)他の労働組合、社会的勢力、政治的勢力とともに、さまざまな社会的組織との対話に参加すること。21 世紀の労働者と社会的多数派に合致する社会契約の再構築にむけて、社会的、経済的モデルの変化を追求する、ii)不安定な労働に従事し、したがって雇用関係が脆弱な労働者グループの権利の回復、強化、拡大の取り組みをとりわけ重視すること、iii)労働者の権利の拡大、強化に向けて、生産システムと労働市場で起きている変化に私たちの労働組合を適合させつつ、私たちの組織を拡大すること。組織拡大すればするほど、より多くのより良い権利を獲得することができます。

こうした方向のなかで、私たち CCOO は全労連のみなさんとつねに連帯しています。私たちがこ

れまで連帯して両組織の関係を強化してきたように、私たち CCOO は全労連の今後のたたかひの成功を祈念しています。

全労連万歳! 日本の労働者階級万歳!

ポルトガル労働総同盟 (CGTP-IN)

全労連の仲間のみなさん、

ポルトガル労働総同盟 (CGTP-IN) は、全労連第 31 回定期大会の開催と大会参加者のみなさんに温かいお祝いを申し上げるとともに、新たな方針と行動計画の採択、また新指導部の選挙が大きく成功することを祈念します。

私たち CGTP-IN と全労連が長期に渡って掲げてきた共通の原則と目標は、階級闘争における歴史的役割として刻まれています。CGTP-IN と全労連は、ポルトガルと日本の労働者の権利と自由を守るため、かけがえのない役割を果たしてきました。

日本と同様、私たちは賃上げ、とりわけ最賃引き上げを求めてたたかっていますが、ポルトガルにおける生活費の高騰を考えると、私たちのたたかひはより現状を反映しています。ポルトガルと EU の支配階級は、この物価高騰をウクライナにおける戦争のせいにしてしています。しかし実際には、この物価高騰は投機、制裁措置、大企業による基幹経済部門の支配、価格の自由化がもたらした結果であり、端的に言えば、ポルトガルと EU の支配階級が過去に例のない規模の富の増加を求めて、公共サービスを削った結果です。

ポルトガル労働者、ポルトガル労働者の産業別の運動、全国的な運動は、全労連のみなさんに温かい連帯を表明します。私たちは賃上げを求めるとともに、不安定雇用、労働時間の規制緩和、団体交渉に対する攻撃、労働強化、在宅勤務による収入と権利の削減、公共サービスに対する攻撃、労働組合の団結権と団体行動権に対する規制強化に反対してたたかうことを決意しています。

戦争、新型コロナウイルスのパンデミック、またそれらを口実にした労働者の権利に対する攻撃は、政治が資本に従属しているサインであり、中心的資本による大掛かりなウソとイデオロギー操作が行われている危険なサインです。資本は、資本主義的危機から脱出する方法として、ファシズムと戦争をますます望んでいます。

全労連の同志のみなさん、私たちは平和を求め、

軍国主義に反対し、核兵器廃絶に向けて協力してたたかうという共通の目的を掲げています。私たちはとりわけ、日本の憲法9条の破壊と軍国主義復活に反対するみなさんのたたかいに連帯を表明します。

全労連第31回定期大会という重要な機会に際して、私たちポルトガル労働総同盟（CGTP-IN）は強調します。それは私たちが全労連との友好協力関係、また労働者階級の利益擁護の前進という私たちに共通する目標を嬉しく思っているということです。私たちの友好関係と共通する目標は、両国の労働者の未来に対する希望であり、確信です。

連帯のご挨拶をお送りします

ポルトガル労働総同盟（CGTP-IN）
書記長イザベル・カマリーニャ

汎キプロス労働連盟（PEO）

親愛な同志のみなさん、

汎キプロス労働連盟（PEO）を代表して私たちは、全労連第31回定期大会に参集されたみなさんに連帯のご挨拶をお送りします。

全労連第31回定期大会は、世界中の労働者が貧困、経済的格差、社会的不平等の拡大といった新自由主義の影響を経験するなかで開催されます。

新型コロナウイルスのパンデミックは、すでに存在していた社会的、経済的不平等を悪化させ、同時に仕事の世界における労働、社会、労働組合の権利に対する新たな攻撃にたびたび利用されています。

ロシアのウクライナ侵攻に続いて勃発した戦争によって、大規模な破壊が引き起こされ、多くの人々のいのちが奪われました。

経済制裁の発動は戦争終結ではなく、さらなる緊張をもたらします。経済制裁の決定の結果は、終わることのないインフレと物価上昇によってすでに生活が圧迫された労働者にさらに重くのしかかっています。

パンデミックのさなか、汎キプロス労働連盟は労働者の健康を守るためにたたかい、失業した労働者を支援し、解雇を回避し、公衆衛生システムを支援しました。

いま私たちは労働の規制緩和と権利を伴わない低賃金の不安定雇用に反対し、たたかい続けています。

私たちは、労働協約の適用を法的に義務づける規則と、労働協約が適用されない労働者の最低限の権利を保障する規則の制定を政府に要求しています。

また私たちが極めて重視しているいまのもう一つの要求は急騰する物価対策です。

私たちは上昇し続ける物価に苦しむ労働者、年金受給者、社会的弱者の負担を軽減する社会政策の実施を求めてたたかっています。

同時に私たちキプロス労働者は、キプロス問題の解決と政治的平等が確保された二地域共同連邦制に基づく祖国の再統一を重要な優先課題に掲げています。私たちが求めているものはキプロス人、ギリシャ系キプロス人、トルコ系キプロス人のすべてにとって平和、かつ安全な未来が保障された解決策です。

コロナのパンデミックによって、地球の未来、社会福祉、そして国民と労働者の権利に対する新たなリスクと課題が私たちに突き付けられました。

労働者の連帯と相互支援が示しているものは、新自由主義的政策に対する労働者の応答であり、社会進歩、正義、平和、安全保障を達成する条件です。

私たち汎キプロス労働連盟と全労連は共通の目標を掲げています。

私たち汎キプロス労働連盟は、労働者の権利を守り、賃上げを求め、人々の生活の向上を求め、ジェンダー平等を求め、核兵器に反対し、平和な世界を希求する全労連のみなさんの日々のたたかいとキャンペーンを大きな関心をもって注目しています。

私たちは、全労連第31回定期大会決定によって全労連のみなさんが目標を達成されることを確信しています。

全労連第31回定期大会のご成功を祈念します。

アルゼンチン労働組合センター（CTA-T）

（ビデオメッセージの原稿）

親愛な全労連の仲間のみなさん、

ここアルゼンチン労働組合センター（CTA-A）から、全労連のみなさんに力強いご挨拶をお送りします。私たちアルゼンチン労働組合センター（CTA-A）と全労連は、これまで課題とたたかいを共有してきました。私たちアルゼンチン労働組合センター（CTA-A）は2015年、全労連が私たち

を訪れ、互いの経験を交流したこと、また 2018 年、「グローバル化と労働組合権に関する南からのイニシアチブ (SIGTUR)」の大会にも参加したことを思い出します。この思い出は私たちがともに歩んできた道の一例に過ぎません。

こんにち全労連のみなさんが開催する定期大会は極めて重要です。全労連のみなさんは定期大会のなかで、日本の労働者階級の未来について議論するだけでなく、みなさんの課題が世界の労働者階級に貢献する課題であることを明確にするでしょう。といたしますのも使用者がグローバルな規模で拡大するなか、私たちはグローバルで全労働者階級的な取り組みを提案しなければなりません。

全労連の仲間みなさん、これまでの私たちの共同の取り組みのために、いまの私たちに共通の課題のために、全ての労働者階級の勝利が確実な未来のために、私たちアルゼンチン労働組合センター (CTA-A) は今後も奮闘することをあらためて申し上げます。

全労連の仲間みなさんにご挨拶を申し上げます。

アルゼンチン中央労働組合 (CTA-A)

書記長 リカルド・ペイドロ

米国際サービス従業員労組 (SEIU)

(ビデオメッセージの原稿)

私は米国とカナダの労働者で組織する国際サービス従業員労組 (SEIU) のグローバルプログラム局長、ニコラス・アレンです。SEIU のメアリー・ケイ・ヘンリー委員長と 200 万人の組合員を代表して、全労連大会に心からの挨拶を送ります。

みなさんの大会は世界の労働者にとって岐路にある時期に開かれています。コロナパンデミック、気候危機、地政学的不安定さと戦争、世界規模での貧富の格差の拡大という国際的な危機が、世界の労働者と労働運動の根本的な課題を投げかけています。

その根本的課題とは、私たちは子どもたち平和に生きることのできる、気候変動に対応し、ディーセントワークが全ての人に保障され、より公正な世界経済が存在する世界を手渡す事です。

全労連と SEIU は特に最低賃金引き上げの課題で豊かな強力な歴史があります。今後もこの協力関係を発展させ、世界の組織労働者が断割できる道を探りたいと思います。共にたたかって、強くなりましょう。

大会の成功を祈念し、心からの連帯のご挨拶とします。

国際サービス従業員労組 (SEIU)

グローバルプログラム局長

ニコラス・アレン

米電気機械無線労働組合 (UE)

(ビデオメッセージの原稿)

UE の役員を代表し、全労連の同志のみなさんに連帯の挨拶を送ります。太平洋がわたしたちを隔て、パンデミックによって直接会うことが困難になっていますが、私たちは戦闘的、民主的労働運動を進め、世界で労働者を搾取する企業と資本主義に対抗する点で団結しています。

6 月に、黒澤事務局長、布施事務局長、全教の笹本中執、和光大学の山本教授をシカゴでお会いしました。レイバーノーツ大会に共に参加し、日米両国の労働運動の課題と可能性について討論しました。そして UE と全労連の 30 年にわたり国際連帯の歴史をまとめたブックレットの完成を祝いました。

全労連大会は労働者階級の運動にとって重要な時期に開催されています。パンデミックによって貧富の格差は国内でも国際的にもさらに拡大していることが明らかになりました。しかし同時に、労働者に反撃と勝利の条件を作り出しています。労働者は、資本主義経済が数十年にわたって作り出してきた低賃金と不安定雇用のために自らの命を危険にさらすことを拒否し始めています。そしてより多くの労働者が労働組合に入ることで現在の経済システムにおいてより良い生活ができる事に気がつき始めています。労働者と労働組合の両方の抵抗にあって企業の側は、特に労働条件の低い雇いで賃金や給付を改善せざるを得なくなっています。

労働組合運動の側の課題も存在します。企業と労働組合の間の力の格差は依然大きく、企業の側は巨大な富を蓄積し、それを使って自らの利益となるように規制を作り替えるために腐敗した政治システムを利用しています。米国の連邦議事堂で、また日本の参院選期間中にも起こった政治システムへの暴力の行使は、私たちの民主主義社会において労働者が自信を喪失するきっかけとなります。

自信が失われ、民主主義への参加が弱まることで、大企業はその富をさらに拡大できるような政治への支配を強めるでしょう。私たちは日本国憲法

9条の改憲を進める背景に、そのような企業の富が存在していると考えています。軍備の拡大によって利益を得るのは戦争推進の武器やシステムを作る企業以外にありません。大資本に支配された政治による平和憲法への攻撃に警鐘を鳴らす全労連の運動に、UEは連帯します。

さらに、企業経営者は労働者階級に誤った分断をもたらす民族を基礎にして人種主義や差別主義を利用し続けています。破壊的な戦争と気候変動の深刻化する影響など私たちはさらなる課題も存在します。

もちろん解決策は私たちの手の中にあります。国の中でも、国際的にも連帯、組織と階級意識を強化する事です。UEは、何千人もの労働者をUEの隊列に加える新しい組織化に力を入れています。緊急職場組織化委員会(EWOC)という全米でUEとボランティア組織が職場の改善に必要な組織化スキルを学び、組合員とより広い米国の労働者階級意識を高めるために、資本と労働者階級の運動の歴史を学ぶ「彼らと我々の労働組合主義」の出版を通じて未組織労働者の支援にも取り組んでいます。

パンデミックの最中、全労連と組合員が賃金労働条件の改善に果敢に取り組み、危険な労働条件を改善するために政府に働きかけたことは素晴らしい取り組みだと思います。今後も全労連やその他の組織と共にたたかい。戦闘的な労働組合運動の精神と実践が全世界に広がるよう努力したいと思います。

UEをこのような形で大会に参加する機会をいただき感謝します。建設的な大会として成功するよう祈念します。

米電気機会無線労働組合
議長 カール・ローゼン

米レイバーノーツ

親愛な黒澤幸一全労連事務局長、

全労連第31回定期大会に際し、私たちレイバーノーツは全労連の同志と仲間みなさんにご挨拶することを光栄に思います。レイバーノーツと全労連は、共通する取り組みに奮闘するパートナーであり、労働者階級の人々の毎日のくらしのなかで、また大きな運動のなかで、経済、社会、政治に関する進歩的な願いを前進させてきました。全労連のみなさんの不断のコミットメントに感謝申し上げます。

新自由主義的資本主義のおびただしい構造的矛盾をパンデミックが表面化したことによって、私たちは極めて深刻な危機に直面しています。新自由主義的資本主義がもたらす不平等は、米国をはじめとする一部の国で顕著です。それらの国々では人種差別、特権階級、社会資源の不均衡分配によって何百万人もの人々が不安定な状態に、いまや早死のリスクすらある状態にまで追いつめられています。いっぽうで私たちは、強く連帯した労働運動でこの危機に対峙しています。

私たちがレイバーノーツを設立し「米国労働運動のランクアンドファイル(職場の最前線)のかなめ」を担って40年が経ちました。私たちはこの間、国際社会の多くの組合員やその組合連合と出会い、協力する機会を得ました。新自由主義的な企てが世界的で深化するにつれ、労働者を支持することの明快さと確信は、かつてなく重要になっています。資本家階級とそれに従属する政治家による容赦ない攻撃のもと、私たちの組合は賃金の抑制と搾取、分断された州と国の労働法、民営化とアウトソーシング、非正規化と不安定雇用、職場のハラスメント、人身売買、絶え間ない資本逃避の脅しに抵抗しなければなりません。そしてもちろん、この搾取のシステム全体を支えているものは、国家安全保障に対する作り出された脅威であり、拡大する世界の再軍備化です。

それでもこの困難な時期のそれぞれの国には「抵抗の中心」が存在し、深遠な人間的価値観と労働者に固有の権利に信念を持ってたたかい続けています。こうした原則に基づいてレイバーノーツと全労連が関係を構築し、継続してきたことを誇りに思いつつ、今後の多くの協力的と生産的な取り組みを期待します。

全労連第31回定期大会の開催に際して、全労連への敬意と賞賛を込めて、レイバーノーツから連帯のご挨拶を申し上げます。

エレン・デービッド・フリードマン
レイバーノーツ運営委員会議長

世界労働組合連盟(WFTU)

親愛な仲間みなさん、兄弟姉妹みなさん、世界133カ国における数百の加盟組織とその1億500万人の組合員を代表し、私たち世界労連は全労連のみなさんに戦闘的、かつ温かいご挨拶をお送りします。

私たちが生きているいまこのとき、資本主義の

経済危機が次々と私たちに襲いかかっています。パンデミックは、社会的格差を劇的に拡大しただけでなく、民主的権利と労働組合の自由に対する新たな攻撃に利用されています。

帝国主義者による戦争と干渉は衰えることなく続いています。明らかにそれらは帝国主義者がつねに喧伝する人権を擁護するための戦争ではなく、資源のため、エネルギーの輸送を確保する道路、港、海を求める戦争です。

そうであるならロシアのウクライナ侵攻に際して、米国、EU、NATOの指導者が国際法や人権擁護を声高に訴えることは、かなり偽善的です。

世界平和は、ウルトラ軍国主義、極右民族主義者、ファシストらの後ろ盾によって保護されるものではなく、経済制裁や経済紛争のうえに築かれるものでもありません。世界平和と安全保障のために真にたたかう人々が要求するものは、NATOをはじめとするすべての軍事同盟の解消、核兵器の廃絶、そして米国とその同盟国の利益に加担する国のみならず、すべての国の独立と主権に対する尊重です。

私たちは5月6～8日、第18回世界労組大会をローマで開催しました。

この歴史的大会のなかで私たちは、労働者階級の団結、連帯、国際主義を求めるたたかい、資本主義の束縛から社会を解放するたたかいのなかで私たち世界労連が果たした役割を再確認しました。

そして私たちは反帝国主義、反ファシストを貫き、干渉や強要なしに自らの現在と未来を自らが決定するすべての人々の権利を守るたたかいにコミットすることを再確認しました。

たたかいと組織された戦闘的な要求によってのみ、労働運動の目標が実現され、社会進歩が達成されることは明白です。あらゆるレベルの労働者のいまの要求に応えるたたかいは賃金、雇用、安全保障、文化、精神など多岐にわたります。

私たち世界労連が想起する世界の労働組合運動の主要な優先課題は、民主主義と労働組合の自由の擁護、団体交渉、期間の定めのない協約に基づく安定した雇用、ジェンダー平等と女性の解放、差別、搾取、社会的公正に対する男女の共闘の推進です。また労働組合の自治と階級的志向を守るためには、官僚主義、腐敗、資本と使用者の操作からの脱却も重要です。

私たち世界労連は、よりよい生活と労働条件のためにたたかう全労連と日本の労働者に連帯を表

明します。また日本国民の真の利益とは相容れない軍国主義的、帝国主義的な道に向かって日本が大きく舵を切ることを阻止するためにたたかう全労連と日本の労働者に連帯を表明します。

私たち世界労連は全労連定期大会の成功を祈念しています。私たち世界労連は、第31回全労連大会決定によって全労連のみなさんが強化され、確信を深め、戦争や干渉のない世界のため、人間による人間の差別や搾取のない世界のため、連帯と国際主義に基づいてたたかい続けることを確信しています。

戦闘的なご挨拶をお送りします。

世界労連書記長
パンピス・キリツシス

建築木材建築資材労働組合インタナショナル (UITBB)

親愛な仲間のみなさん、

全労連第31回定期大会参加者のみなさん、

建築インター（UITBB）を代表し、みなさんに戦闘的で温かいご挨拶をお送りします。私たちが代表する建設部門の何百万労働者を代表し、みなさんに連帯メッセージをお送りすることを光栄に思います。

世界中のすべての労働者が極めて困難な時期に直面しています。その困難をもたらしたものは、ウクライナにおける戦争、パンデミック、金融危機といった私たちを取り巻く地政学的に重大な出来事であり、さらに世界中の右派政権による冷徹な政策です。

賃下げ、解雇、生活や労働条件の悪化などをおして、ツケを払わされるのは常に貧しい人々です。私たちは、グローバルで進歩的な労働組合運動として、こうしたすべての不公正に反対し、世界中で団結し、全力でたたかわなければなりません。だからこそ私たちは、ウクライナでの戦争の即時終結、ウクライナの領土からのロシア軍撤退を要求すると同時に、世界中の何百万もの人々を苦しめる好戦的、挑発的な軍事同盟、NATOの解散を要求しています。労働者は、帝国主義的な国々のなか存在する反体制派の一部などではありません。帝国主義の戦争のために労働者がツケを払う必要などないはずで

唯一の被爆国である日本は、核兵器の恐ろしさを身に染みて知っています。まさにこれこそが核

戦争の危機が間近に迫るいま、これまで以上に、私たちが全労連のみなさんとともに核の使用を直ちに中止するよう要求し、すべての労働者に平和のためにたたかい続けるよう強く呼びかける理由です。

国際的な建設労働組合として、私たち建築インターの組合員は、私たちの目標を達成すべく、つねに日々のたたかひの第一線に立っています。私たちは7月16～17日、キューバのハバナで執行委員会を開催し、全労連のみなさんが直面している問題とまさに同じ問題を議論しました。日本の全労連加盟の建交労、国土交通労組、都市労という3労組は私たち建築インターに加盟しています。このことは私たちの誇りです。同3労組は労働者に対する攻撃や困難がグローバルな問題であり、その解決策や反撃もグローバルな規模で組織すべきだということをよく理解しています。そして同3労組は、世界中の兄弟姉妹のために戦闘的に運動する建築インターのなかで最も積極的な組合です。

最後になりますが、私たちのたたかひは決して容易なものではなく、極めて困難な状況のなかでのたたかひです。しかし私たちのたたかひの正当性は、私たちにパワーを与えてくれます。私たちは労働者の生活改善、世界平和、労働者とすべての人々が人間らしく生き、自らの豊かな未来を築くことができる新たな社会の構築に向けて、たたかひ続けます。

全労連第31回定期大会の成功を祈念し、戦闘的なご挨拶をお送りします

UITBB 執行委員会を代表して
書記長 ミカリス・パパニコラウ

国際労働組合権利センター(ICTUR)

親愛なる友人、同志のみなさん

ロンドンに本拠を置く国際労働組合権利センター(ICTUR)から東京で開かれる全労連第31回定期大会にご挨拶を送ります。

ICTURは全労連と長年にわたって緊密な協力関係を築いてきました。この機会にみなさんの活動、特に日本と世界で労働者と労働組合の権利を守る活動への支援をお約束します。

近年、ICTURで発行する国際労働者権利誌(IUR)に全労連や加盟組織から気候をいただいているこ

と、またIURの掲載論文が全労連や加盟組織によって翻訳され紹介されていることを心から嬉しく思っています。このような協力関係、情報と知見の共有が今後とも発展することを願っています。

私たちは安倍晋三元総理が凶弾に倒れたことに驚き、また皆さんと同様民主主義社会において暴力は許されないと考えています。しかし同時にこの事件が、医療と社会保障を削減し、日本における労働者の基本的権利を後退させ、大企業と富裕層を優遇するアベノミクスと呼ばれた新自由主義経済政策を進めてきた安倍政権の政策を免罪するものとなってはいけないというみなさんの懸念を共有しています。

そしてまた、先の国会において強制労働に関するILO105号条約批准法案が通過したことに励まされています。日本においてさらにILO基準の批准、適用と支持がヒルがることを強く期待しています。日本の公務労働者の大半の労働基本権が依然として制約されていることを想起し、基本権回復に向けたみなさんの運動を引き続き支援したいと思えます。

欧州で起こっているウクライナ侵略戦争について、全労連のみなさんが侵略の即時停止、国連憲章に基づく平和と相互尊重の国際秩序の即時回復を求めていることに賛同します。さらにこのような戦争下において、核兵器のない世界の実現を目指す全労連の取り組みは重要性を増しています。

ICTURは全労連と労働者の国際連帯を築いてきたことを喜び、大会の成功を祈念します。今後ともさらに協力関係を深めていきましょう。

連帯をこめて

国際労働組合権利センター(ICTUR)事務局長
ダニエル・ブラックバーン

フィリピン SENTRO

フィリピン SENTRO から第31回定期大会に集った全労連のみなさんに温かいご挨拶を送ります。大会で採択される方針が、必要な分析と日本の労働者のたたかひを強化し、すべての労働者との国際連帯を強化するものとなることを願っています。

SENTROは、特に新型コロナウイルスの被害を受けている労働者の権利と福祉の向上のためにたたかう全労連に連帯します。賃金引き上げ、ILO105号条約批准とさらに111号条約批准に向けた労働組合の取り組みは、日本の労働者階級の基本的権利を保障するために欠かせません。

同様に、全労連が国際平和とあらゆる形態の帝国主義戦争に反対する運動へのコミットメントは、組織労働者が国際主義と基本的価値をまもるたたかひに取り組みことの重要性を教えてください。全労連と SENTRO は国際社会とともに、ロシアの側に撤退とウクライナ戦争の終結を直ちに行うことを求めています。

またこの状況を利用して軍事費を大幅に増大させるなどの企みをゆるさない運動において、共通の基盤があると考えています。SENTRO は、日本政府が軍事費を増大させ、日本国憲法に反して軍事的能力を強化し、国際紛争を軍事的手段でなく外交で解決をと強く願っている日本国民の意思を踏みにじることに、全労連が厳しく反対の立場を貫いていることを称賛します。

中国と米国が地政学的な意味で東アジアや東南アジア地域での緊張を高める中で、非軍事化のために集団的な努力を続ける全労連と連携できることは SENTRO にとって幸運なことです。そのために全労連とともに、帝国主義を拒否し地政学的な緊張をあおるような現在の方向性と決別したダ地帯案を模索するために、労働者階級の運動を共に構築するために努力したいと考えています。

共通する課題で重要なことは、両国において民主主義を守り、深化させることです。戦争を拒否するためには、専制主義や軍国主義が労働者の課題や、希望を実現することは決してないことを理解しなければなりません。歴史を通じ、支配層が悲劇を利用して利益を上げる一方で、労働者は戦場で血を流し、命を落としてきました。

だからこそ、私たちが労働者の自由と利益は社会の包括的な民主化を通じて達成されなければならず、国境や文化的な障壁を超えてすべての労働者の国際連帯によって達成されるものです。

SENTRO は全労連との緊密な連携関係によって、歴史的な労働者への呼びかけを実現するために役割を果たしたいと思います。

万国の労働者を団結せよ！

連帯以外に失うものはない！

(以上)